

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	4-1
PDCA	主要事業名	ICTを活用したまちづくり推進事業	部課名	企画部企画課	担当	近藤					
					内線	230					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営										
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 4,976 千円										
	会計 一般会計 歳出科目：02.01.08.06.53										
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 5,000 千円										
	事業概要等	事業概要： 行政サービスのデジタル化に向け、地図情報システム、LINEアプリ等の運用を行い、オープンデータの推進を図ります。									
		事業目的： ICTを活用することで、市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図ります。									
		事業内容： オープンデータの活用推進を目的に、地図情報システム、LINEアプリ等の運用を実施します。									
		問題点・ITの技術革新が速く、採用する技術の見極めが重要となります。課題等： す。									
	予算額	主要事業とする理由									
	4,976 千円	行政サービスのデジタル化に向け、ICTを活用することで、市民の利便性向上を図るため。									
財源内訳	得られる成果										
市費	スマホやパソコンで利用可能な新サービスを創出することで、市民の利便性を向上させます。										
4,976 千円	目標値や目指すべき状態										
国費	令和元年度 令和2年度 令和3年度 単位										
0 千円	オープンデータとしての公開データ件数 実績値 150.0 150.0 160.0 件/年										
県費	目標値 130.0 150.0 160.0 件/年										
	はんだマップのアクセス数 実績値 713 713 713 件/月										
0 千円	目標値 1,000.0 1,100.0 1,100.0 件/月										
	その他										
0 千円	実績値 1,100.0 1,100.0 1,100.0 件/月										
D 値得られた成果と実績	決算額										
	4,975 千円										
	得られた成果										
	オープンデータの取り組みの一環として行った、はんだ市報令和4年新年号のモザイクアートにおいて、多くの市民から写真の応募があり、オープンデータを身近に感じてもらえることができた。										
	成果指標										
	令和3年度 単位										
	オープンデータとしての公開データ件数 実績値 135.0 件/年										
	目標値 160.0 件/年										
	はんだマップのアクセス数 実績値 713 件/年										
	目標値 1,100 件/年										
C 課題の整理	C										
	事業の評価・課題										
ホームページのオープンデータサイト、はんだマップに定期的にデータを更新しているが、アクセスが一定数で推移しており、利用者が固定化されていると推測される。利用者を増やすための新たな公開データや、サービスの導入が課題である。											
A 今後課題の解決に向けた	改善推進										
	今後の事業の方向性										
	名古屋大学遠藤准教授、浦田准教授の支援を受けて、引き続きオープンデータの拡充推進に努めるとともに、データを活用した新たな市民サービスの導入を目指す。										
	観点別評価										
	必要性 有効性 効率性										
	①市の関与の妥当性 妥当 ④上位施策への貢献 大きい ⑦コスト ない										
	②市民ニーズ 高い ⑤成果向上の余地 ある 削減余地 ※対象・手段の変更										
	③休廃止の影響 小さい ⑥類似事業の有無 ない ⑧受益者負担適正化余地 ない										